

# 指導方法等の改善計画について (国語科)

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校69.3%, 県69.7%)

対県比 99.4%

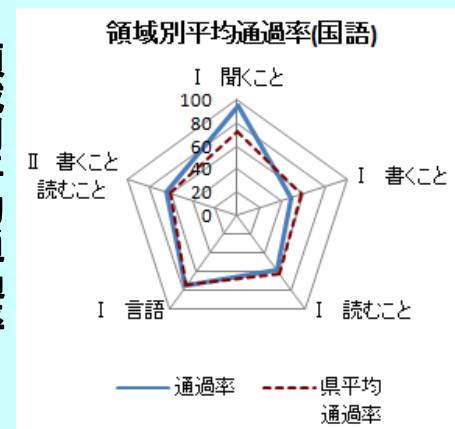
学力定着実態調査 本年度正答率

本校67.1% 全国64.8% 対全国比 103.5%

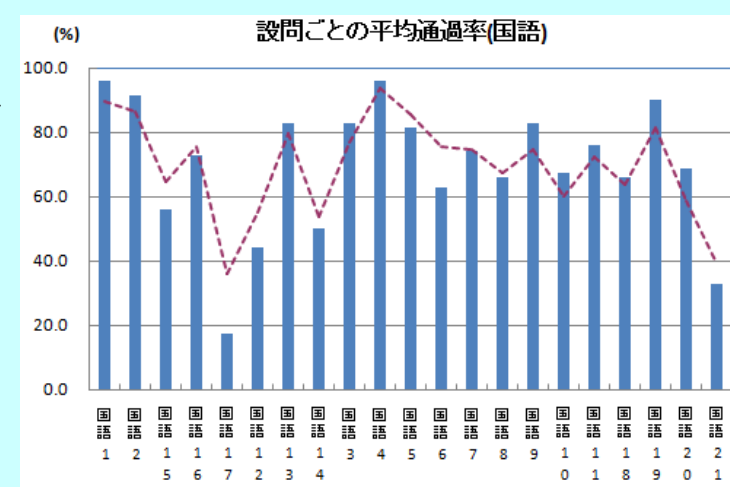
本年度の結果について

全体的に、言語活動に対しては、ある程度の理解力が定着しているように見えるが、それを文章読解や書くことの表現活動に活用することができていない生徒が多い。  
 文法における、主語・述語の関係や修飾語・被修飾語の関係などを具体的な文章表現を作成(短文を作る・文と文をつなぐ・長い文を分割するなど)する中で、正しい表現や読解につなげていけるように指導していく。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題	B問題
本校74.8%	本校59.4%
全国75.6%	全国66.5%
県76.6%	県67.9%

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 100%

## 重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(正答率17.1%)(対県平均-18.1%)  
 「叙述の仕方の確認」について、主述の関係をうまくつかめていない生徒が多い。「図っていきたい」に対応する主語を補えていない生徒が55.7%いる。

【課題2】(正答率44.3%)(対県平均-10.6%)  
 「段落相互の関係の把握」について、間違った段落を選択した生徒が42.8%いる。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(正答率66.7%)(対県平均-9.4%)  
 「文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する」において、主述の関係を間違えてとらえた生徒が33.3%いる。

【課題2】(正答率40.4%)(対県平均9.5%)  
 「文章を書き直した意図として適切なものを選択する」において、間違えて解答した生徒が57.9%いる。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値(50%) 実施後数値( ) %  
 文法の単元での小テストを繰り返し実施する。また、文法の単元だけでなく、読みや書きの指導においても、主述の関係をおさえた指導をする。

【課題2】目標値(65%) 実施後数値( ) %  
 説明文の指導において、段落の要旨をまとめたり、段落構成を考えさせるなど細分化した学習をすることで、段落相互の関係を理解できるようにする。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値(75%) 実施後数値( ) %  
 基礎的な文法の学習を振り返りながら、実際の読解や書くことの表現活動に生かしていけるように学習する工夫をしていく。

【課題2】目標値(50%) 実施後数値( ) %  
 課題1と同様に、単元以外での繰り返しの学習を実施する。

※今後の改善計画については別紙